

ヒトカラ NEWS

Presented by co-creative design studio

~hitocolor~

VOL, 3

地域づくりアイデアづくり

アイデアをカタチに
自分がやりたいこと
×
みんながやりたいこと

自分がやりたいコト

改めて考えてみると、なかなか出ないもの。こういう機会があると自分を見つめなおすことができる。

みんながやりたいコト

自分がやりたいコトを思い切つて声に出してみる。みんなの話に耳を傾けてみる。すると、ひとりでは考えもしなかったアイデアがあふれ出す。「なんかワクワクする。」そんな気持ちが溢れる。

ポジティブコミュニティ

日本人はまちづくりの企画を考えるときに問題解決法をよく用いる。こういった考え方をする企画グループの事を、ネガティブコミュニティという。一方、お祭りの実行委員のように、どうやったらもつと楽しめるのか、ワクワクのかと考えるようなグループの事をポジティブコミュニティという。

誰もが参加したいと思うのは、もちろんポジティブコミュニティ。自分たちが楽しんでさらに周りの人たちを巻き込んでいく。そして、まちが元気になっていく。そんな企画を考えていきたい。



知り合い人口の増加

やりたいコトを実現できるための土壌って何だろう。やりたいコトがあつても実際に行動に移すのは大変なこと。

でも、それって「ひとり」という条件があるからではないのか。ひとりじゃできないことも、誰かと一緒ならできるかもしれない。「ひとりより2人、ふたりより3人」というふうに。そういう意味じゃ「人と人とのつながり」ってすごい力を持った人生における宝になるのでは。

ヒトカラを通して、知り合った人、その人から更に知り合いを広げていく。何事もヒトカラはじまる。

アイデアをカタチに

やりたいコトがあつても、いきなり100%なんて狙わなくていい。まずは小さな一歩から、「想いを声に、声をカタチに」ちよつとずつ。

次回は「アイデアづくり3回転3回ひねり」

FOCUS ヒトカラ人

「自分のやりたいコト」 (岡田季樹さん)

私は昨年第2期のヒトカラに参加しました。昨年は、規格外で廃棄されてしまう飯南町のサツマイモを活用しようと、ジャムやスムージーなどを開発しました。そして、商品を農家の方から売込みにいかれ、実際に商品化されました。実際に行動して、カタチにできたことにやりがいを感じ、第3期のヒトカラにもう一度参加しました。

第3期のヒトカラは昨年受講した内容とは異なる手法でのグループワークもあつて、新鮮でした。さらに、昨年の知識と新しい知識が交わつていろいろなアイデアが浮かんで来て、自分の可能性がどんどん広がっていくことを実感できました。また、メンバーが変われば雰囲気も全然違って新しいアイデアが生まれそうでもワクワクしています。

今後のヒトカラでは、自分のやりたいコトを見つけないがら進めていきたいです。

